

# 平成 29 年度

## 第 1 回大阪府立少年自然の家指定管理者評価委員会会議概要

〇 日 時：平成 29 年 7 月 28 日（金） 9：30～10：00

〇 場 所：大阪府庁本館 5 階 議会会議室 1

〇 委員出席：5 名

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事（質疑要旨）

（1）委員長の選出

岡田委員が委員長に選出された。

（2）平成 29 年度大阪府立少年自然の家指定管理運営業務の評価等について

◆事務局から、平成 29 年度指定管理業務評価票案及びスケジュール等について説明

<質疑概要>

委員：資料の 1 の（3）①で、年間の利用者数の目標が下がっているところが気になった。先ほどの説明では、バーベキュー場の開設が 9 月以降に遅れるからという説明だったと思うが、去年の目標は宿泊客が 57700 で、今年の目標が 56400 となっている。バーベキューガーデンの利用は主に日帰り利用を見込んでいてそのようになっているのかということと、この目標が下がったところとの説明をお願いしたい。

事務局：バーベキューガーデンは、日帰り利用だけを考えているわけではなく、冬季の閑散期対策として考えている。日帰り客だけでなく宿泊客の利用も含まれるため、両方の目標から引かせてもらっている。

委員：バーベキューガーデンが冬季の閑散期対策で、9 月から 3 月にはオープンするというのであれば、宿泊目標が下がるということはどういうことか？

事務局：説明が不足していたかもしれないが、今回 9 月から着工し、オープンは年度末になると考えている。元の目標値は、冬場に見込んでいた数値であり、日帰り利用だけではなくて、宿泊客も含んでいた。オープンの遅れにより、元の目標値から日帰り利用と宿泊利用の両方を減らしている。

委員：遠距離からバスで来るお客さんが減ったということだが、何か理由があるのか。

事務局：原因の一つとして、正式に分析したものではないが、学校でレクリエーションの予算が減ったため、バスをチャーターするという形で来ているお客さんが、減りつつあるということを知っている。

委員：前にバスの値段が過当競争で下がって行って、ツアーバスの事故が起きて、ということがあって、貸切バスの規制が変わり、その関係で、バス料金が上がっている。学校では、お金が 1.5 倍くらいかかるようになって、簡単にバスを使うというのがしにくくなったということはある。

4 閉会